

第 165 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 31 年 2 月 27 日（水） 13：54～

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長 古森課長 湯浅室長 市原課長 牛尾室長

村木課長 長見所長 外浦課長 村瀧室長

原田分室長 佐々尾分室長（欠席） 三浦分室長 小松分室長（欠席）

書記：日ノ原係長 木谷主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について（資料 1）
- (2) 教育委員と社会教育委員の意見交換について（資料 2）
- (3) 浜田市立学校統合計画審議会答申について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

早速ではあるが、お配りしている資料に基づいて報告をさせていただきます。

① 1 月 25 日（金）第 164 回浜田市教育委員会定例会（2 階会議室）

② 1 月 27 日（日）第 29 回中学校柔道三隅大会（三隅中体育館）

今年は残念ながら釜山からの参加はなかった。韓国の国内での合宿中に怪我があったため、大掛かりな合宿や国外での試合等は自粛されているということであった。来年は第 30 回大会であるため、是非参加したいということである。

54 チーム、310 名の参加があり、福岡県、大分県、愛媛県、そして中国 5 県から参加されていた。男女 15 階級あるため、ベスト 4 以上の表彰は 60 名になるが、その内、浜田市内の生徒は 60 名中 2 名ということで、例年よりも成績が振るわなかった。

③ 1 月 28 日（月）第 39 回全国中学校スケート大会出場報告（教育長室）

浜田東中学校 3 年生の三島悠生さんが教育委員会に報告に
来られた。三島さんは小学校 1 年生からスケートを始めて、2
年生の終わり頃から選手を目指すコースに入り、頑張っていた
ということであった。小学校 5、6 年生が参加をするカテゴリー
では、全国で 13 位になったことがあるということで、県内
のトップスケーターである。

昨年は、全国大会の予選を通過できなかったため、今年は予
選通過を目標にすると話していたが、今年も残念ながら予選を
通過できなかったと聞いている。しかし、これからもスケート
を続けたいということで、今のコーチが広島にいるため、広島
の高校に進学をして、今後も頑張りたいということであった。

④ 2 月 1 日（金）子ども読書会講師：藤井克子先生表彰式（中央
図書館）

20 年間にわたって講師をしていただいていた藤井先生が、
今年度で退任された。長きに渡り講師を務めていただいたこと
に対し、教育委員会から感謝状を贈呈させていただいている。

⑤ 2 月 2 日（土）前浜田市長・故宇津徹男氏浜田市市葬（石央文
化ホール）

700 人を超える参列者がおられた。委員方にも出席をいた
だき、ありがとうございました。市葬委員会の委員としてお礼を
申し上げたいと思う。

⑥ 2 月 6 日（水）第 46 回創作ダンス発表会（石央文化ホール）

今年、幼稚園からは美川幼稚園が出場をした。小学校では
10 校が出場していたが、岡見小学校は 3、4 年生のチームと 5、
6 年生のチームが別々に参加をされており、学校を挙げて創作
ダンスに取り組んでいる姿を見ることができた。岡見小学校は、
少ない人数の中で合唱コンクール等にも積極的に参加をして
非常に頑張っており、子どもたちの頑張っている姿を見て嬉し
く思った。

例年、この時期にインフルエンザが流行するため、開催でき
るか心配をしていたが、何とか開催することができて良かった
と思っている。

⑦ 2 月 10 日（日）第 18 回全国小学校スポーツ雪合戦大会（旭市
民体育館）

岩手県、福島県、富山県、広島県、岡山県、徳島県、島根県
の 7 つの県から全部で 13 チームが参加をされており、岩手県

のチームが優勝、旭小学校のチームが準優勝であった。旭小学校のチームは、準決勝で現在2連覇中であり3連覇を目指していた広島県のチームに勝ち、決勝に進んだということで大健闘であった。

昨年度までは、小学生雪合戦大会であったが、今大会からスポーツ雪合戦という名前に変わった。雪がなくてもできるスポーツであるということで、今大会も雪が降らず、体育館の中で行ったが、そういった理由で「スポーツ」を名称の中に入れたという説明があった。

- ⑧ 2月11日（祝）平成30年度島根県公民館研究集会（兼）地域課題解決型公民館支援事業成果発表会（三隅中央会館・三隅中学校）

県内の公民館館長、主事、社会教育関係の方々、社会教育を行っているまちづくりセンター、コミュニティセンターの職員の方等が約480名集まって開催をされた。非常に大きな催しであった。

最初の研究集会の式典では、今年度の優良公民館、優良公民館職員の表彰があった。浜田市からは雲城公民館が優良公民館として表彰をされた。

職員についても、優良職員として三隅公民館の野尻主事と、井野公民館の篠原主事が表彰を受けた。

その後、午前中に1コマ、午後から2コマ、10会場で分科会に分かれ、延べ34研究発表が行われた。私は3つの分科会に参加をした。浜田市でも色々な取組を行っているが、発表を聞く限りでは、県内他市の取組よりも浜田市が半歩くらいリードしているのではないかと思った。

- ⑨ 2月13日（水）浜田市教育委員会・臨時会（教育委員会）

委員方に集まっていたいただき、来年度の教職員の人事異動の内申について、協議させていただいた。

- ⑩ 2月19日（火）～2月27日（水）3月市議会定例会・施政方針・教育方針・提案説明・全員協議会・会派代表質問・個人一般質問・議案質疑

初日に委員方に色々のご協力いただき、策定した教育方針について、私から読み上げさせていただいた。それから、会派代表質問、個人一般質問について、昨日まで行われた。

今回、特徴的な質問を申し上げると、議員方は協調学習に高

い関心を持っておられた。委員方も含めて視察を行った時に、協調学習の勉強をしてきたが、議員方で旭中学校の公開授業を見に行かれた方が多く、協調学習に関する高い評価をいただいたところである。

実は全国の研究集会を浜田市で開催しないかという声かけをいただいております、平成 31 年度の全国集会は浜田市で開催されるかもしれない。その時には、全国で協調学習について勉強されている方々が集まり、その成果を基に、浜田市の協調学習がレベルアップしていく可能性が高く、是非、全国集会が浜田で開かれればと思っている。正式に話があれば、受けたいと思っている。

また、原井幼稚園に来年度入園の申込者がおらず、園児が 0 人になるということで、31 年度は休園ということになった。それについて、なぜ園児がそれほどにまで減ったのかというような原因や経緯について、色々と質問があった。いわゆる保育のサービスの部分で預かり保育等について、他の私立幼稚園や保育所に劣っており、そういったサービスが悪い分、他に流れたのではないかという厳しい意見をいただいた。そういったサービスの充実については、新しい統合幼稚園を考える時に一緒に検討をする。新しい統合幼稚園を作ることによって、運営費が浮く部分があるため、それを新たなサービスの充実で充てるという説明をさせていただいた。

⑪ 2月 24 日（日）浜田市家庭教育支援講演会（具体研修室）

香川大学の清國先生にお越しいただき、体幹を鍛える親子遊びと題し講演していただいた。この日は欠席をしているため、内容については分からないが、清國先生は今までも何度も浜田に来ていただいております、社会教育、公民館との関わり等でご指導いただいている。

今回は視点を変えた家庭教育ということで、特に子どもの遊びについてお話をしていただいたということであり、行くことができず残念であった。

1 か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

2 つほど、聞きたいことがある。1 つ目は、創作ダンスの発表会

石本教育長	<p>について、美川幼稚園と小学校が 10 校参加をされているが、中学校の参加はないのか。</p>
石本教育長	<p>10 年以上前は中学校、そして高校からも参加をしていたが、今は中学校も高校も中々時間が取れないということである。小学校についてもほとんど 3、4 年生が参加をしているが、小学校は色々な行事があるため、分担をしており、創作活動については主に 3、4 年生が行うこととしている学校が多い。ただ、三隅小学校は 6 年生が参加をしていた。岡見小学校は 3 年生から 6 年生まで参加をしている。他の学校は、3 年生か 4 年生のどちらかであった。</p>
藤本委員	<p>承知した。</p> <p>2 つ目は、三隅で行われた島根県公民館研究集会であるが、私は、廃校を利用した分科会があり参加をした。益田市の旧美濃小学校を廃校利用して活動をしているということに関心を持ち、見学をしていたところ、席が何箇所か空いており、座ってくださいと言われたため、席に座った。そうすると、発表の際に意見を言っしてほしいと言われ、発表まで行った。少し自分の思いとは違い、本当は 2 つ、3 つの会場を見学して回りたいかったが、回ることができず最後までそこにいた。しかし、参加できて良かったと思っている。</p>
石本教育長	<p>熱心に意見を言っておられて、活発な交流であったと思う。</p>
藤本委員	<p>本当は、もっと他の会場を回って色々聞いてみたかったが、動けなかった。</p>
石本教育長	<p>中に入ればそうなるかもしれない。ありがとうございました。その他はよろしいか。</p>
宇津委員	<p>原井幼稚園の休園に対する議員方の評価というのは厳しい評価であったと思うが、少し言い過ぎではないかという気がしている。サービスと言われても、園長先生を始め先生方も一生懸命やっておられるのにも関わらず、こういった現実がある。その辺り議員方もどうにかして何とか自分たちでできないかという部分を含めてお話になればいいと思うが、評論家的な評価なので寂しい気がしている。</p>
石本教育長 委員方	<p>その他はよろしいか。 特になし。</p>

2 議題

(1) 浜田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について (資料 1)

資料1をご覧ください、概要説明資料から説明をする。浜田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について、まず目的・理由であるが、校長が教育上必要かつ、やむを得ない事由がある場合において、授業を行わない日である日曜日及び土曜日に授業が設定できるようにするということが1番の規定整備の理由である。また、島根県教育職員人事関係法令要覧の準則を参考とした規定整備などの所要の改正を行うものである。

大きく5つあり、まず1つ目が休業日の改正である。第4条に関係するが、日曜日及び土曜日の授業を行わない日に、教育委員会の承認を得て授業を設定できるように規定整備を行う。

2つ目が、既に今年度から小学校はそうになっているが、道徳が教科化されたことに伴う改正である。検定教科書を使用することが義務化されたことから、準教科書に位置付ける道徳の文言を削る。

3つ目が、職員の定義の改正である。学校に置く職員の定義を改めるとともに、職員の職務を整理する。

4つ目が、分校関係の改正である。分校について、今はないため、校務分掌から分校主任に係る項目を削り、分校勤務職員、本分校勤務職員を命免した場合の届出に係る項目を削るものである。

5つ目が、その他規定の整備ということで、読点の位置を変える等の整備である。

6ページをご覧ください、第4条第4項について現行では、校長は、教育上必要があり、かつ、やむを得ない事由があるときは、あらかじめ休業日変更承認申請書（様式第2号の2）により教育委員会の承認を得て、第1項第3号から第6号までとなっているところが、第1項第3号から第1項第2号へと改正される。第2号が、日曜日及び土曜日ということである。来年度、5月に10連休が入り、授業確保が難しいため、今までは土曜日、日曜日に授業をした場合に振替休日をとらなければならなかったが、例えば土曜日に授業をしても振替をとらずに、1日授業日とカウントするというようにすることができるようにする。全ての学校が適用するかは分からないが、そういったこともしたいという要望があった。

10ページをご覧ください、第23条が教材の承認の関係であり、現行は、道徳用図書や準教科書（道徳用図書）の使用承認申請書を提出するとあるが、道徳用図書という文言を削っている。

10 ページから 12 ページの第 25 条は職員の関係であり、栄養教諭、学校栄養職員等の職名を新たに追加している。同条第 4 項が職務についての関係となっている。

12 ページをご覧いただき、第 27 条で現行では分校には分校主任を置くものとするがあるが、既に分校はないため、削除するものである。13 ページの第 28 条も同じく分校に関わるものであるため削除している。これに伴い、15 ページ以降が様式であるが、改正後の文言に併せて修正を行った。

また、その他として、句読点の位置の修正や、必要のない読点の削除を行った。以上である。

石本教育長

5 つの大きな変更点があるということで、概要のところに示している。2 点目から 5 点目は新旧対照表をご覧になれば、お分かりいただけると思う。

それから、1 点目の休業日の改正については、先ほど説明があった様に土曜日、日曜日に授業をした場合、今までは振替休日を取らなければならなかったが、取らなくてもよいこととする。ただ、全ての学校が行う訳ではなく、希望した学校に適用ができるということになる。

ご意見、質問等あればお願いします。

藤本委員

数年前に東出雲の学校で授業時数が足りないということで非常に大きな問題になった。そういったことがあってはいけないが、今年の場合は新年度に入って 10 連休がある。間違っても足りないということがあってはならない。

牛尾室長

現在も夏休みを短くし、2 学期のスタートを早めるなどして対応している。足りないということが絶対にないように対応する。

藤本委員

承知した。

石本教育長

休業日の改正を適用して対応するか、先ほど牛尾室長からあった様に夏休みを早く切り上げて、そこで授業時数を確保するかのどちらかである。今でも中学校は 8 月 27 日、28 日辺りから 2 学期が始まっており、小学校もその辺りに始まっているところもある。それが少し早くなる可能性はある。

藤本委員

例えば、夏休みの期間を少し短くして授業日を設け、授業時数に余裕を持たせ、台風シーズンに入った際に予報の段階で休校の判断をするということではできないか。中々、判断に困るのではないかと感じる。

牛尾室長

それは可能である。

石本教育長	ある程度、余裕を持っておかなければ、台風もあるが、インフルエンザや雪害による休校も想定されるため、学校によってはそういったことも頭に入れながら授業時数の計算をされている。最後、余ったらということもあるが、授業時数が増えることについては問題ない。
藤本委員	エアコンを設置となると、夏休みは家にいるよりも、学校で授業を受けた方が涼しくて良いのではないかと思う。
石本教育長	電気代の問題はある。 その他はよろしいか。
委員方	特になし。
石本教育長	それでは規則改正について、承認をいただいたということでもよろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

(2) 教育委員と社会教育委員の意見交換について (資料 2)

村木課長	今年度は 3 月 20 日の午前 10 時から概ね 2 時間程度を予定している。内容としては、公民館のコミュニティセンター化について年末から年始にかけて話が出ている。これに関して社会教育委員が浜田市と浜田市教育委員会に対して緊急提言を 3 月 12 日に提出する予定である。内容について社会教育委員が委員方に説明し、その後、意見交換ができればと思っている。なお、出席者であるが、社会教育委員 13 名全員で出席したいと考えている。よろしく願います。
石本教育長	この日程については、委員方には伝えているのか。
村木課長	これからである。
石本教育長	日程が 3 月 20 日であるが、ご都合の悪い方はおられるか。
委員方	問題ない。
宇津委員	場所はどこであるか。
村木課長	中央図書館である。
金本委員	3 月 12 日に提言が提出されて、内容について私たちにはいつ知らされるのか。
村木課長	3 月 12 日以降、20 日までに送付させていただく。
石本教育長	意見交換は絞って行うのか。
村木課長	そうである。
石本教育長	3 月 20 日 10 時から 12 時、場所は中央図書館の 2 階研修室で

ある。今年度は議題を絞って社会教育委員が公民館のコミュニティセンター化に対する緊急提言をされ、その内容について意見交換をしたいということである。事前に緊急提言の内容については委員方に周知される。参加をしていただきたいと思う。

この件について何か質問はあるか。

委員方

特になし。

石本教育長

では、意見交換会についてこの様な内容で進めさせていただきたいと思う。よろしく願います。

(3) 浜田市立学校統合計画審議会答申について (資料3)

古森課長

資料3の1番目の諮問事項で、大きな1番、(1)、(2)、そして大きな2番の項目について、平成29年5月24日に教育長から諮問を行った。その諮問に基づいて審議等をいただいたところである。平成29年度に4回、平成30年度に6回、計10回の審議会を開催している。29年度中には現地視察を行っている。最終的には2月12日に教育長に対し答申が行われたところである。

資料の4ページの答申書の1はじめにというところをご覧いただきたい。まず、はじめにの部分は、諮問を受け慎重に審議したという内容であり、説明は省略させていただく。

次の2審議に当たった部分であるが、学校で子どもを育むためには、一定規模の集団形成が必要であるという観点、また、教育環境の提供のために老朽化が進んでいる学校施設の整備が必要である観点を踏まえたうえで、今後策定する10年間の計画の中では、学校施設の老朽化対応を最優先とし、重点的に審議を行ったところである。

実際に答申の内容については、3答申の内容の(1)小・中学校の適性規模及び適性配置について、最初に、①小規模校のあり方の部分についてであるが、現在、複式学級のある5校については、適性規模としての課題はあるものの、学校の耐用年数や通学条件の観点から、この10年間の計画では、変更せずに存続が望ましいとの結論に至ったものである。

②小・中学校の配置及び通学区域の見直しの部分であるが、ア雲雀丘小学校については、結論としては原井小学校への統合となり、それに伴い通学区域の変更となる。理由としては、雲雀丘小学校は建設後62年経過しており老朽化が激しいこと、それから、現在は複式学級にはなっていないが、各学年とも10人前後、少

ない学年では4人しかいない状況であり、来年度は3、4年生と5、6年生が複式になる予定である。また、今後の子どもの増加の見込みであるが、今の0歳から5歳までの子どもが今後6年間、小学校に入学することとなるが、雲雀丘小学校区の過去の約10年の推計では、大体、子どもは平均100人くらいおられたが、その中で7割程度が入学して、それ以外の3割程度の方は他の地域に転居している。転勤族の方が多い地域であるため、そういった状況である。中々、校区内の住民票どおりの学校進学状況でないため、人数の増加が望める地域ではないということを含めて、学校が老朽化していることがメインではあるが、学校間の距離では約2キロであることから、原井小学校への統合が望ましいということである。

次に、イ第四中学校について、結論は第三中学校への統合である。第四中学校においても雲雀丘小学校より更に1年古く築63年であり、老朽化が著しい。そして現在、各学年とも10人前後であり、住民票上で、現在の第四中学校区の0歳から11歳までの子どもの数からも、今後大幅な増加は想定しにくいこともあり、実際には生徒数、教員数の少人数化により、学校教育や部活動の面において制限が想定されるものと考え、第三中学校への統合が望ましいとなっている。ただし、答申書にはないが、距離的な問題、通学路のバスの問題を考えたときには、路線バスは第二中学校方面に出る方が多いと思うため、その辺りは今後地域の声を聞きながら、第四中学校の統合先が決定されるのではないかと考えている。

また、なお書きの部分については、現在、教育委員会の方向性としては、同一小学校の児童は同一中学校に進学することが望ましいという方向性を持っている。現状、松原小学校については、第一中学校と第二中学校へ分かれて進学する。松原小学校が現在の位置に建設された際に、同じ浅井町でも駅前周辺は石見小学校、駅北周辺は松原小学校へ行くという状況になっており、そういったところを解消するため、色々と協議はしたが、学校統合がない状況の中で校区を見直すことは中々難しいのかなというところがあって今回は変更しないということに記載している。

6 ページの(2)小・中学校の建設計画の基本方針について、先ほどの審議に当たっての部分で申し上げたとおり、学校施設の老朽化対応を最優先という考え方で審議を行った。ここに記載が

ある様に、建設後 40 年経過している学校は 10 校あるが、その内、統廃合とする雲雀丘小学校と第四中学校を除いた学校については、耐用年数が 10 年程度残っている学校については現状どおりとし、今後 10 年間の経過の中で先送りする方向性としている。また、小学校については、旧那賀郡を中心に地域性を考慮して現在の時点では学校の老朽化を優先に考え、対象外となり、それ以外の老朽化の激しい石見小学校と美川小学校、耐用年数に達していないが、劣化度の高い松原小学校と第二中学校の 4 校に絞って審議を行った。

まず、1 番目の石見小学校については、建設後 56 年を経過し、老朽化していること、建物の構造上、職員室が 3 階にあり、子どもの安全面を考えた際に難しい場合があること、また、給食車両が裏の進入路から出入りするのもぎりぎりであるため、建替えの際の工事車両の出入り等を考慮すれば、近いところに場所を新たに設けて学校を建てるのが望ましいとされている。どうしても代替地確保が困難な場合には、課題を整理した上で、現地建替えすべきということである。

2 番目の美川小学校については、建設後 77 年を経過しており、かなり老朽化している。また、複式学級の解消が望ましい小規模校ではあるが、美川小学校の統合を考えた場合には、地域のコミュニティの場所が無くなってしまうということもあり、美川小学校については地域コミュニティの存続や発展のための中核的施設と位置付け、総合的に判断し、建替えが望ましいとされている。建設場所については、第四中学校の統廃合後の跡地を活用しながら、建設を行う。

3 番目の松原小学校については、建設後 42 年ではあるが、他の学校と比べて劣化が激しく、建替えの対象施設と捉えているものの、全体の児童数が減少していることや原井小学校、石見小学校、三階小学校の 3 校のトータルの児童数を考慮した際に、今後の子どもの数によって学校数を減らしていくかどうかを検討する必要がある、現在、松原小学校を建替えることはせず、この 10 年の計画の中では先送りすることとなった。

4 番目の第二中学校については、建設後 48 年の施設ではあるが、塩害の影響もあり、劣化度が高い状況である。第二中学校区の中の 1 番端に建設されており、中々代替地が難しく、今の段階では現地建替えが望ましいとされている。

協議した4校のうち、3校については建替えが必要であるということである。審議会の順位としては、石見小学校と美川小学校が両方とも第1順位で、その次に第二中学校となる。第1順位については、土地の問題や建設場所の問題が解決した学校から建設を進めるということが審議会の答申である。

4付帯意見であるが、今回は建物の老朽化を優先で審議を行ったが、今後、子どもの数が減っていけば小規模校が更に増えると推定されるため、そういったことがないような教育環境を整えることが望ましく、今後の統廃合についても地域・保護者の方からの意見も踏まえて、今後の検討を進めてもらいたいとの意見であった。

答申が正式に表に出るのは、明日の2月28日に総務文教委員会があり、その中で報告をする。その後、翌日の3月1日に新聞等に掲載されると思っている。

教育委員会としては、該当となる学校を回って説明を行う。学校からは何も答えることができないため、報告は聞いているが、細かいことは教育総務課へ聞いてもらうように対応している。もしも個人的な意見を求められた時には、個人的な立場での回答はできませんという対応をして下さいという説明をしている。

来年度に入って、保護者、地域への説明会を開いて意見を聞きながら最終的に教育委員会としての方針を決定して、財政協議も含め、今後の建設に向けて動くことになる。統合の年度についても、答申書にはないが、教育委員会としての方向性を出す段階では、決定をした上で記載しなければならないと思っている。

石本教育長

学校統合計画審議会の答申について詳しく説明があった。5ページからの答申の内容についてがメインであると思うが、委員方から質問等あるか。先ほどお話したとおり、保護者の方や地元の方に対し、地域へ出向いて説明会を開く必要がある。10年前の前計画策定時には委員方にも会場に出席をしていただいて、実際に現場の意見や雰囲気を経験していただいている。今回もまた全員ではなくても、できる範囲で出席をいただきたいと思っている。また、相談をさせていただきたい。早くても4月下旬以降になると思う。

藤本委員

明日、総務文教委員会が開かれ、そこで議員方に報告されるということなので、そこからスタートになると思っている。その後、全員協議会では説明をされるのか。

古森課長 藤本委員	<p>議会最終日の3月12日に全員協議会で報告する予定である。</p> <p>新年度に入って各地域に出向き答申について説明に行くが、前回の時にはそれぞれ会場で意見が挙がって、例えば、説明会と言いながら既に方向が決まっているのではないかという意見もあり、非常に重苦しい雰囲気を経験した。ただ、順序とすれば、そうせざるを得ないと思うため、ご理解いただけるような説明をしなければならないと思う。</p>
宇津委員 古森課長	<p>市民の方へはいつ頃伝わるのか。</p> <p>現在、浜田市ホームページに今回の審議会の答申、議事録も含めて出す方向で調整をしている。</p>
日ノ原係長	<p>明日の総務文教委員会で報告を行うため、おそらく3月1日の新聞に出ることを予想し、3月1日にホームページで答申書と審議会の議事録を公開する準備を進めている。</p>
古森課長 石本教育長	<p>ホームページへの掲載は全員協議会後の方が良いか。</p> <p>委員会に提出すれば、議会に報告したということになるため、問題ない。次の日に必ず新聞に載る。また、明日、新聞社の取材が重なると思うため、よろしく願います。</p>
藤本委員	<p>ある程度、市民の方にもお知らせしなければならないが、同時に全てという訳にはいかないため、順序を踏む必要がある。</p>
石本教育長	<p>どの程度、説明会を行うかであるが、統合となる雲雀丘小学校、第四中学校では、当然、保護者、地域の方々へ説明が必要であると思うが、それ以外のところで、全体を通して聞きたいという方がおられれば、個別にどこの地域の方でも参加できる会を設けた方が良いかもしれない。ただ、自治区ごとに行うこととなれば、中々、大変かと思う。今回は結果的に浜田自治区に関する学校だけである。</p> <p>1年以上かけて色々と相談しながら教育委員会としての最終的な計画を作っていく必要があるため、長丁場になると思うがよろしく願います。</p>

3 部長・課長等報告事項

佐々木部長	<p>平成31年度教育方針（資料4）</p> <p>資料4をご覧いただき、教育方針については委員方には事前にご覧いただいているが、若干の変更点があるため、説明をさせていただきます。1ページの大きな段落の3つ目に開府400年の関係を追加しているため、ご了承いただきたいと思う。</p>
-------	---

平成 31 年度当初予算説明資料（資料 5）

来年度の教育委員会の予算ということで、予算の説明資料から抜粋して教育委員会のものを抜いている。新規としては、5 ページのスクールバス運行事業でスクールバスにドライブレコーダーの設置を来年度に計画をしている。

また、9 ページの整理番号 669 番をご覧ください、今回大きな予算である、学校のパソコンのセキュリティの強化及び校務支援システムを要求するというのを昨年の秋に説明をしているが、学校の校務支援システムについては、浜田教育事務所管内、三市三町の歩調が整わないということで、来年度の予算要求を見送っている。そのため、パソコンのセキュリティ対策の部分のみ、予算化をしている。新規事業については説明シートが後ろについているため、また後ほどご覧いただければと思う。

21 ページの整理番号 713 番をご覧ください、杵束コミュニティ施設整備事業について、杵束に老人福祉センター及び老人憩いの家の 2 施設があるが、これを統合して新たに公民館と図書館の機能を有するコミュニティ複合施設を建設する計画になっている。来年度は設計、測量を行い、その委託料が予算計上されており、平成 33 年度の供用開始に向けて整備を行う。

最後に郷土資料館の関係で、来年度新たに組織を立ち上げて歴史資料館の建設について、必要性を含めて検討していただく、検討会議の予算も計上している。また、詳細が決まり次第、委員方に報告をさせていただきたいと思う。

平成 30 年度一般会計補正予算（第 5 号）説明資料（資料 6）

3 ページの真ん中の 130 番からが教育費である。ほとんどが不用額の調整や財源の振替である。また、ご覧いただければと思う。

会派代表質問 通告一覧（31 年 3 月定例会）（資料 7）

教育長からも話があったが、今回は協調学習に関する質問、原井幼稚園の関係の質問が多く出ていた。会派代表質問の中でも、そういった質問が多かったが、その他として、6 ページに（仮称）浜田歴史資料館についての質問があるが、会派代

表質問及び個人一般質問も含めてご質問をいただいた。それぞれの内容については、ご覧いただければと思う。

個人一般質問 通告一覧（31年3月定例会）（資料8）

今回は18名の方が質問され、そのうち教育委員会の関係では10名の議員の方から質問があった。事前通告では10名であったが、再質問で教育委員会に回って来たものもいくつかあり、それを含めると11名から質問があった。タイトルを見ていただき、1番の佐々木議員からは、いじめの関係の質問、2番の道下議員からは土曜学習の関係の質問、3番の沖田議員からは学校プールについての質問、4番の川上議員からは開府400年と書いているが、浜田城とそれ以外の山城についての質問があった。

2ページ目をご覧いただき、7番の布施議員からは先ほどの（仮称）杵束コミュニティ施設の関係の質問、9番の西川議員からは学校の諸課題ということで学級崩壊や学力、協調学習等についての質問があった。

3ページ目をご覧いただき、11番の西村議員からは幼稚園の統合問題について、これまでの推移と今後についての質問があった。

4ページをご覧いただき、14番の澁谷議員からは児童生徒の考える力の醸成についての質問、15番の牛尾議員からは原井幼稚園のこれまでの取組についての質問、17番の村武議員からは、子どもの自尊感情について及び子どもの性教育についての質問、最後に18番の岡本議員からは接続カリキュラムについての質問、原井幼稚園についての質問及び歴史資料館建設の地元の思いについて質問があった。詳しくは後ほど中身をご覧いただければと思う。以上である。

古森課長

行事等予定表（資料9）

3月9日から卒業式、卒園式が始まる。9日、10日、14日、15日、16日、18日、19日とあるが、それぞれ誰がどこの学校、園に行くか、また調整をさせていただく。委員方には複数出席いただくため、よろしく願います。

そして、3月29日に教職員退職・辞令交付式が行われるため、ご出席をお願いします。

牛尾室長

また、先ほどあった、3月20日に教育委員と社会教育委員との意見交換会ということで、行事予定には入れていないが、出席をよろしくお願ひしたい。

第10回(2月)市校長会資料レジュメ(資料10)

2月の浜田市の校長会で示したことについてである。まず1来年度浜田市指定校についてということで、1-(1)は協同学習である。現在は金城中学校と旭中学校で進めており、来年度も継続していきたいということで協同学習については両校とも継続である。1-(2)は、算数・数学研究であるが、現在は小学校が雲雀丘小学校、中学校が第二中学校で前田先生を招いて進めている。第二中学校は来年度3年目になり、来年度が最終年度になるが、継続希望をされているため、小学校については雲雀丘小学校で2年間行ったが、来年度から道徳等の次の研究大会があるため、そちらにシフトするということであり、小学校については1年間であるが新たな指定校を募集している。1-(3)は学校図書館活用教育について、現在、国府小学校と美川小学校が推進して行っているが、2校とも来年度は別の研究を行うことになったため、新たな指定校を募集している。基本的には小学校1校、中学校1校で推進していきたいが、中学校だけになるかもしれない。いずれにしても、今年度中に指定校を決定し、来年度のスタートがスムーズになるように、今校長会でも投げかけて、アプローチしているところである。

次に、2 学力向上総合対策事業：スーパーティーチャーによる示範授業研修についてであるが、来年度の日程を決めている。国語が7月22日(月)に小学校を会場に行う。算数が翌日の7月23日(火)に小学校で午前中行う。道徳を8月19日(月)午後、中学校を会場に行うことを決めているため、その日には多くの教職員が参加できる様に、行事や個人懇談を避けてくださいということをお願いしているところである。

次に、3 来年度の全国学力調査、県学力調査の日程について、資料に記載のとおり、確定している。

裏面をご覧ください、4 平成30年度県学力調査結果について、12月に県学力調査の結果が出て、その内容の話をしている。結果の概要から2月と3月に各学校で分析をしており、それを基に傾向と対策を、願ひするというのを伝えている。

各学年で改善点や課題に対し、まず、すぐに明日からでも取組めること、全校で取組めることというのを、各学校で分析しているところである。是非、その中に、学力調査の問題を導入して、授業で活用してほしいということを伝えている。また、中学校の英語であるが、県学力調査を見ても、厳しいところがある。傾向と対策について、文部科学省の方からも、今年度、予備調査があったが、それとほとんど同じ方向で行うため、その問題を使って英語の担当者に、どのような問題が問われているのか、そして問題を生徒に解かせてくださいと言われていたため、是非、問題を活用してくださいと話している。今、学校訪問をしているが、その時に伝えている。実際にそういった問題を使って授業をしたり、全国学力調査の傾向問題を課題に出したりする、取組を行っていると聞いている。

最後に 5 教育活動のスクラップ&ビルドであるが、平成 32 年度から小学校新教育課程になり、新しいものがどんどん入ってくる中で、中々学校現場は行事であったり、色々な授業や活動であったりを減らすということが難しく、増える一方である。それでは、教職員の負担が増えるため、スクラップ&ビルドと言いながら、中々スクラップすることができていないため、その技術について、教育資料に掲載があったものを紹介した。掲載内容の 1 点目に活動を始めた当初から活動の年限を切るとある。例えば、この活動は 3 年間行い、3 年後にはゼロベースで見直して、やはりこれは必要だということになれば次年度に新たに始める。今、学校間の連携や地域との協働を求めることが多くなっているため、相手がある活動の場合には、より、まず 3 年間ということを決めておくことが、非常に大切なことだと思う。2 点目に、いきなり見直すことはできないため、来年度までに見直すことを今年度のうちに決める。スクラップの技術が少しでも現場で活用されれば良いと思っている。以上である。

村木課長

平成 30 年度島根県公民館研究集会及び公民館・職員の表彰について（資料 11）

先ほど、教育長からも話があったため、詳しい説明は割愛させていただく。学校が会場であったということで、校長先生にも当日待機をしていただいた。県からは、学校を使ってこうい

った県大会ができたということは非常に珍しいし、今後も学校と地域の連携を1つにしていこうというような評価をいただいたところである。当日も特に問題等なく行うことができた。

平成30年度和歌山県公民館連絡協議会研修会「地方創生は公民館から～まち・ひとを育む公民館活動のために～」(国府公民館)(資料12)

和歌山県の公民館から国府公民館にトークセッションをしてほしいという依頼があり、それを行った報告である。「こくふ元気プロジェクト」という事業を通して、まちづくりや地域づくりに長けた、例えば、鮭プロジェクトであるとか海フェス等を作ってきたが、そういった実践発表を佐々木館長と現在の公民館主事である濱本主事、それから、当時の国府公民館の主事であった村武議員が参加をされた。3名分であるが、旅費は全部、和歌山県から出していただき、この事業の説明を行った。

国府公民館有福分館移転に伴う旧有福小学校の改修工事について(報告)(資料13)

平成30年度、公民館の関係で大きなものは、前半で浜田公民館の2階の拡張工事が行われた。後半の大きなものとして、資料にあるように、国府公民館有福分館を旧有福小学校に移設するための改修を1月16日から3月18日の工期で建築工事、電気工事、機械工事、設備工事をそれぞれ、面積の関係もあり、主に1階だけの工事となる。旧有福小学校は非常に古い校舎で消防設備等何もない施設であったため、かなり大きな工事となっている。職員室から左側4つの部屋にエアコンを設置したり、畳を敷いたりといった工事に現在取り掛かっている。また、平成31年4月以降は外構工事を行うが、今年度中に内部の工事を行う。

施設改修完了にともなうスポーツ施設の利用開始について(資料14)

今年度は、浜田市陸上競技場、浜田市野球場、ラ・ペアーレ浜田の改修工事を行った。12月の定例会の時にそれぞれ利用ができないということでご迷惑を掛けたという話をさせていただいたが、3月1日には全てのスポーツ施設の開始が見込め

るということで、今日報告をさせていただきます。

特に陸上競技場においては、好天の関係もあり、予定より1か月早い完了となった。先般、2月23日に第4種公認検定を受けて、数ミリという世界の検定であるが、問題なく公認をいただけた。

野球場においても、外野のウォーニングゾーンやフェンス等も全て修繕した。若干、3塁側に陥没したところがあったが、観客席であるため、これは運用にはほとんど影響はないということで、問題なく3月1日には利用開始となる。既に3月2日には広島カープのOBのイベントが予定されている。

ラ・ペアーレについても、10月から生涯学習課に移管され、温水プールの改修が整い、先日竣工検査も終わり予定どおり、3月1日から、利用が可能になった。

サン・ビレッジ浜田についても、改修工事を行ったが、12月27日から既に一般開放をしていることを報告する。

平成30年度スポーツ功労者 島根県教育委員会教育長表彰について（資料15）

スポーツ功労者として、県から表彰があった。陸上協会で長く役を務めていただいている、現職の校長先生でもある鳥居正嗣さんが、この度、功労者表彰を受けた。

図書館システム更新作業に伴う臨時休館について（資料16）

図書館の蔵書管理業務や利用者データ管理、他自治体図書館との連携、ホームページの運用等、図書館運営の中核に関わる図書館システム「LiCS-Re（リックス・アールイー）」という、システムを平成22年から利用しており、この度、後継サービスLiCS-Re2にバージョンアップする必要があるため、更新に係る日程について臨時休館となる。

今も実際に蔵書点検で休館はしているが、4月に入り8日から11日と5月1日の祝日の日に、それぞれ端末へのインストール作業、自動返却機や予約棚サービス等との機能連携調整のために、臨時休館をさせていただきたいと思っている。今回、バージョンアップにより加わる機能として、外部からのセキュリティというのは年々強くなっているが、そういった面から最新のセキュリティサービスを強いものにする、次に検索機

能や検索した際に図書の名前が出るが、そこに図書の写真が載る等の利便性の向上、そして、元号改正の対応、その他将来に向けた機能の拡張ができるようなバージョンに上げるものである。利用者の方には休館中にご迷惑をお掛けするが、システム向上のアップということで、4月8日から11日までと5月1日に臨時休館することを報告させていただく。

原田分室長

かなぎシェアハウス成果報告会について（資料17）

平成28年度に金城町下来原で広島東洋カープの1軍コーチの佐々岡真司さんの生家を改修し、現在、地元の住民で組織をしている運営委員会が学生の方をサポートしながら5名の方が暮らしている。この度、4年生の方が卒業されるということで、2月16日午後2時にみどりかいかんで、かなぎシェアハウスの成果発表会が行われたところである。卒業される3名の学生は第1期で入所され、卒業するにあたって、こういった取組をしたいということで、地域の方に対して報告を行った。その中で当日は活動の報告ということで、交流・学び・卒論の3つのテーマについて発表された。

資料の7ページをご覧ください、交流については、雲城地区の運動会、町内の盆踊り、美又温泉まつり、交通安全の街頭指導及びハッチョウトンボを守る会のアンケートの集計等の活動をされている。

次に13ページから17ページまでが学びについてであり、非常に力を入れている。13ページに、かなぎシェアハウス学習会の様子を掲載している。15ページに、掛け算九九50問というのを1分間で解くこととといった、頭の体操を取り入れた学習カリキュラムを作り、そういった工夫をしたという発表があった。17ページには、学習会の生徒を島根県立大学へ連れて行った様子であり、生徒は感激をしていた。授業中ではあったが、教室の中に入り、拍手で迎えられて緊張したという発表があった。

次に18ページから21ページをご覧ください。これは学習会のアンケートを抜粋したものであり、平成28、29年度の保護者の方及び学習会の生徒の方のアンケートの内容がある。また、ご覧いただければと思う。

22ページをご覧ください、最後に卒論ということで、これ

は美又地域での研究活動ということで発表を行った。この研究の取組によって、非常に地域の方と仲良くなり、美又の温泉まつりだとか、産直市みまたの市場でのアルバイトをしたことや色々なことを経験されてビジネスプランコンテストにおいて、学生さんが発表された。

また、報告会の冒頭で島根県立大学の清原学長から、かなぎシェアハウスを通して学生の成長を実感したと言っておられ、シェアハウスに入って、地域で活動しているのは金城だけであり、定住しながら活動ができ、地域と学生とが非常に上手くいっているところを評価しておられた。また、島根県立大学は松江、出雲、浜田キャンパスがあるが、学生の地域貢献においては日本一になりたいと言っておられ、地域の人材を育てることに力を入れたいということであった。

3名の卒業生は、地域の方と非常に親しくなり、最後にはお別れ会をしたということであった。

石本教育長
各課長
石本教育長

その他、資料のないところで各課長から報告事項はあるか。特になし。

今、たくさんの報告事項があった。委員方から質問等があればお願いしたい。

質疑応答

宇津委員

かなぎシェアハウスについて、3名の卒業生の方はこの経験が、人生の財産になったのではないかと思う。今回、3名が卒業され、次年度以降の入所の募集をされると思うが、状況はどうか。

原田分室長

現在、調整中であるが、前日も数十人の募集があり、その中から決定した。特に中学生への学習の指導や、地域とのふれあいの面で、適した人材に入所してもらえる様に、調整しており、新年度には3、4名の入所の予定があると聞いている。

石本教育長
原田分室長

昨年も発表があり、出席をしたが、大変頑張っておられた。

卒業論文においても、他の学生は大体2万字くらいで作成されるところを、5万字くらいの論文を作成されたということで、学長も大変驚いておられた。

金本委員
原田分室長
金本委員

次年度も女性のみなのか。

かなぎシェアハウスは女性のみとしている。

女性ばかりが活躍していて、少しもったいない気もする。

石本教育長 原田分室長	この3名は、1名が県内の方で、2名が県外の方であったのか。そうである。1名が松江市の出身であり、もう2名が、それぞれ富山県、宮崎県の出身である。地域の方も、若い方に地域に入ってもらおうと非常に明るくなると言われていた。
石本教育長 原田分室長 石本教育長	今でも世話役は石田さんであるか。そうである。有福分館の外構工事を平成31年度にされるということであるが、これは1年間かかるのか。
村木課長 石本教育長	半年間の工期を予定している。例えば、10月1日に完了して、そのあたりで、式典をするのか。
村木課長	機能は今年度に移すため、3月31日に開所式は行う予定である。
宇津委員 村木課長 石本教育長 村木課長	体育館は残るのか。残るが、体育館は何も改修はしない。今でも地元で使っており、中々趣のある構造である。過去に一般の方が中を見せてほしいといった要望があり、視察に来られたことがあった。
宇津委員	昔の建物で、とても立派な材料を使っている。階段の厚みも違う。
石本教育長 各委員	その他はよろしいか。特になし。

4 その他

(1) その他

石本教育長 各課長 石本教育長	その他、事務局から何かあるか。特になし。私から、委員方へカラフルな学校づくりという本のチラシを配らせていただいたが、横浜の小学校の校長である、私の同級生が書いた本である。自分が校長として、色々と取組んだことをまとめており、平易な言葉で書かれているため読みやすい。校長がどういう風に学校運営をしているかがよく分かり、校長会や教頭会でも紹介をしている。
-----------------------	--

次回定例会日程

定例会 3月19日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

次々回定例会日程

定例会 4月23日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

15:33 終了